

伊藤勝美（公明党）

過去に質問した案件の対応は

問 平成15年から4年間に提案した案件の現在までの進捗状況を伺う。

- ①災害時の電気途絶に備え、学校内の井戸に手押しポンプを設置してはどうか。
- ②住宅耐震診断の申込を市のホームページからできるようにしてはどうか。
- ③防災意識調査を啓発活動の意味も込めて実施できないか。

答 ①手押しポンプ整備に代わり、全小中学校に発電機を設置して対応する。



- ②メール申し込みは、12月議会終了頃には開始したい。※現在は開始されていません。
- ③インターネットや各種イベントを活用して調査を実施したい。

その他の質問事項
1 不登校対策ほか17件

鈴木源六（新政クラブ）

油井踏切閉鎖に伴う周辺整備を

問 鉄道高架により油井踏切が閉鎖されるが、周辺整備をどう考えているか。

答 油井踏切を閉鎖するまでは都川左岸道路を完成させ、その後、閉鎖踏切上空に歩道橋を架ける。都川左岸道路へのアクセス道路である井瀬木橋から旧国道23号線までの道路整備は、市施行で事業を行う。

ボートピア川崎の経営強化策について

問 ボートピア川崎は長期赤字が続いている。事業を縮小する考えはないか。



ボートピア川崎

答 来年度には2億円以上の経費を削減する。売上向上策として、場内映像モニターを2場併売対応型にし、1階有料席には個別モニター、ペア席、グループ席の設置を計画している。

竹内政住（市政クラブ）

国道23号蒲郡バイパスの早期整備を

問 国道23号の今後の予定は。また、坂本地区の高架道路日陰地に進出する企業の内容を伺う。

答 幸田町芦谷インターからオレンジロードに接続する蒲郡インターまでの区間は、平成24年度に供用開始ができるよう努めている。坂本地区には自動化ロボット等を作る企業が進出する。20年初めには工場を稼働させたいと聞いている。

中部土地区画整理について

問 中部土地区画整理事業の進捗状況と、今後の予定を伺う。

答 進捗率は19年3月末において事業費で61%、建物移転で59・6%を予定



中部土地区画整理地内

している。事業促進に向け更なる努力をする。

藤田勝司（市政クラブ）

不登校対策について

問 蒲郡市内に不登校児は、何人いて、どのように対応しているのか。

答 不登校を理由に年間30日以上欠席した子供は、平成17年度に小学生で20名、0・42%、中学生で71名、2・87%である。対応として、①中学校にスクールカウンセラーを置く、②教育相談を定期的、随意的に行い、子供の悩みを把握する、③適応指導教室「あすなろ学級」、不登校相談室「麦」を置く、④教員研修を行う、⑤医療機関、児童相談所、教育センター、家庭児童相談室等と連絡を密にするなどである。個々の子供にあった対応をしたい。

その他の質問事項

- 1 教育基本法
- 2 いじめ問題